

学校だより 2月号

赤見っ子



赤見台第一小学校

令和5年1月31日(火)

鴻巣市赤見台4-19-1

TEL 048-596-1688

<http://aka1-e.konosu.edumap.jp> FAX 048-597-0265

学校教育目標

- (あ) 明るいい心で 助け合う子
- (か) 体も心も たくましい子
- (み) 自ら学ぶ かしこい子

～テキパキにこにこ赤見っ子～

次の学年への準備～桜の花芽から～

校長 大澤 紀子

2月3日は節分です。翌日は立春、暦の上では春が近づいているということですが、まだまだ寒い日が予想されます。3学期が始まり、本校では、新型コロナウイルス感染症は少し落ち着いていますが、感染予防対策を継続しながら、同時に教育活動もしっかり進めていけるよう取り組んでいます。

子供たちは、この時期、理科の学習で冬の植物や動物の様子を観察します。寒さは厳しいですが、よく見ると桜の木には「花芽」がついています。暦の上では「大寒」から「立春」にかけ、最も寒い時期です。しかし、4月の「満開の桜」へ向けての準備が始まっていることを実感します。

桜は、花が散ってから少し経つと、次の年に花を咲かせる準備を始めます。水泳学習をしている7月頃には「花芽」ができています。しかし、すぐには花を咲かせません。寒い冬に花が咲かないように暑い夏から秋にかけて長い休みの期間に入ります。そして、冬の寒い空気にさらされると、少しずつ眠りから目覚め「花芽」が大きくなっていき、3月下旬ごろから開花が始まります。つまり、桜が目覚めるスイッチは、この寒さということなのです。そう言えば、露地栽培しているイチゴも、冬を越した株でないと花を咲かせません。桜と同じことが言えるのですね。



このことを学校での生活に置き換えてみます。この3学期は、次の学年への向けての準備の期間です。特に2月は、次の学年になるための行事や活動が多く予定されています。1年生は、生活科の学習を通して、お兄さんお姉さんになる心構えをつけます。3年生は、クラブ発表会やクラブ見学を通して4年生から始まるクラブ活動へのイメージを膨らませます。5年生は、「6年生を送る会」や「卒業式」に向けての準備を通して、最高学年になる自覚を身に付けていきます。6年生は、「巣立ちの会」で保護者への感謝を表し、お世話になった学校へ奉仕作業も行います。また、授業参観懇談会は、どの学年も1年間の成長を確認する場となります。寒い時期にこそ、準備のスイッチをONにして、4月には満開の桜のように素晴らしいスタートができるようにしておくことが大切だと感じました。

まだまだ、寒さが続きます。インフルエンザや新型コロナウイルスの感染予防も、気を緩めることができません。手洗い・うがい・マスクの着用、食事・休養・睡眠等、感染防止や毎日の健康チェックには、引き続きご協力をお願いいたします。